

地区名 **新関地区**

今年度の取り組み	・新関地区懇談会（6/20、1/21） ・三者（小学校・保育園・コミ協）合同避難訓練、防災講演会（6/14） ・消防訓練（4月、10月） ・七夕福祉のつどい（7/21） ・歳末見守り事業検討会（9/30） ・バスの移動支援について ・新関ふれあいまつり（10月） ・青色パトロール隊 ・肺がん検診（6月）
課題	・歳末見守り事業は、見守りの在り方について検討の必要がある。 ・肺がん検診を骨密度等の検査と同時に実施したが、参加者が多すぎて帰られた人がいた。開催の方法を考えていく必要がある。 ・部員が高齢化している。社会状況からも介護や生活支援、認知症について考えていく必要がある。移動や除雪の課題について、自治会ごとに検討していく必要がある。 ・新津第五中学校圏域は、買い物と通院に不便を感じる人が多い。
評価	・三者合同避難訓練は、学校との連携もでき、有事に備えた訓練を実施できた。 ・七夕福祉のつどいを今年度から再開し、児童クラブも関わりながら、子どもを交えた多世代の交流の機会とすることができた。「地域で子どもを育てる」ということにつながっている。学校も地域の取り組みに理解があり、地域の文化や伝統を子どもに伝えている。 ・全国的に事件等が増えている中で、青色パトロール隊の取り組みにより、防犯活動とすることができている。 ・冬場は雪道が危険ということで、少しでもバスを利用しやすいように、経路を住宅を通るよう工夫することで、行事の参加者が2.5倍に増加した。 ・新関地区の中には、自治会の中で通学路の除雪に取り組んだり、散歩している人がゴミを拾ってくれたり、何気ない活動をしている人も多い。
活動の様子	三者合同避難訓練 防災講演会 七夕福祉のつどい
次年度へ向け	・三者合同避難訓練や防災講演会は継続し、次年度は図上防災訓練の実施も検討する。 ・七夕福祉のつどいは、新しい内容を工夫しながら継続していきたい。 ・健康福祉部で介護や健康、認知症について等の講演会を開催していきたい。 ・歳末見守り事業の検討。 ・青色パトロール隊は継続して活動する。 ・バスの経路を住宅を通るようにする工夫に取り組めていない自治会もあるため、地域の移動の課題については継続して検討する。 ・地域活動を時代に合ったものに見直し、新しい人が入れるように検討していく。

[参加者] 新関コミ協 渡辺会長、松田副会長、山崎会計、吉田事務局長、間防災部長、繁野福祉健康副部長、土田福祉健康部員、渡辺児童クラブ運営部長
 包括にいつ日宝町 吉川社会福祉士
 秋葉区社協 横山事務局長補佐、小林